

平成 27 年 2 月 10 日

関係者各位

国立大学法人 三重大学
大学院生物資源学研究科
研究科長 後藤 正和
「公印省略」

マリンフードイノベーション創発ユニット構築プロジェクト
ワークショップのご案内

～「拡張現実対応遠隔教育支援システム」および「水産製造加工現場実習支援システム」の説明会～

拝啓 余寒の候、貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。

平素は本研究科の教育・研究に格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、生物資源学部では、地域産業との共同研究・産学官連携をスムーズに展開できる設備形成を行うため、文科省等から配分された特別経費で、研究に関連する装置・機器を購入し、いよいよ来年度から実施できる整備を整えつつあります。そこで、本プロジェクトに関連のある皆様に、現在までの進捗状況をご報告するとともに、これらの整備を有効に活用していただくため、装置・機器を利用したワークショップを別紙のとおり開催します。

ご参加いただいた皆様に、本プロジェクトの「目的－戦略－将来像」を再度確認して頂くとともに、実際にプロジェクトで使用する装置・機器に触れて体感していただくことで、学内の研究を推進することはもちろんのこと、今後、地域・自治体・企業の方々がもっと身近に大学と連携を取り、共同研究・産学官連携をスムーズに展開できれば幸いです。

ご多忙の折、誠に恐縮ですが、本企画の趣旨をご理解頂き、ぜひともご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

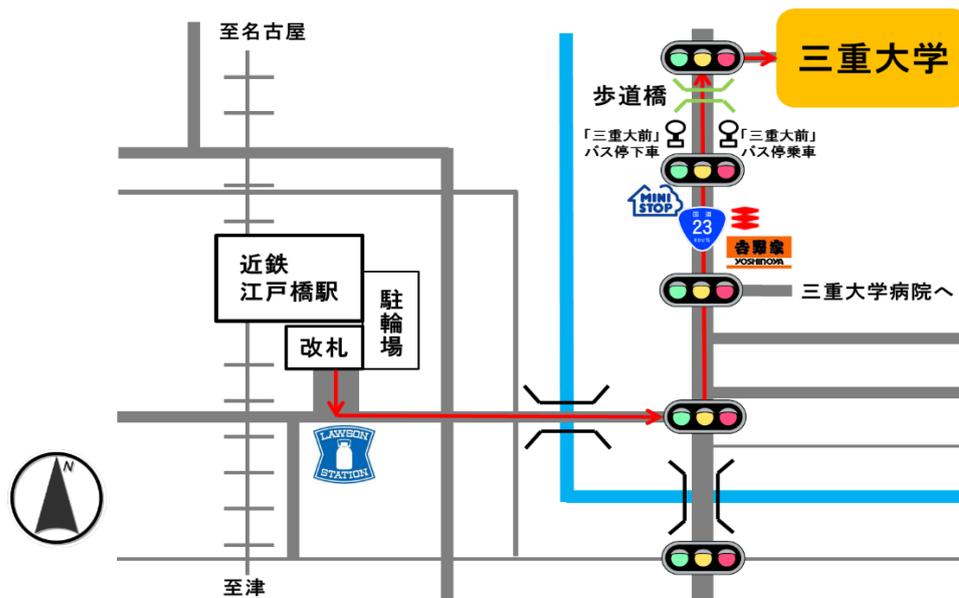
マリンフードイノベーション創発ユニット構築プロジェクトワークショップ

1. 日 時 2015年3月9日(月) 13:00～ (メディアホールにて受付 12:30～)
2. 場 所 三重大学 総合研究棟Ⅱ 1F メディアホール 及び 226 実験室
3. 主 催 三重大学大学院生物資源学研究科 教育研究推進委員会
4. 対 象 プロジェクトに関連する県・自治体・企業関係者、学内教員・学生
5. プログラム
 - 13:00ー 研究科長からのご挨拶
 - 13:05ー ○プロジェクトについての進捗状況報告1・・・・・・・・・・亀岡 孝治 教授
 - ・趣旨説明、分析機器の概略
 - ・学内で推進するプログラムと地域を巻き込むプログラム
 - ・来年度に向けて
 - 13:40ー ○プロジェクトについての進捗状況報告2
 - ・『水産製造実験工場での「安全安心」ものづくり』・・・・・・・・福崎 智司 教授
 - ・『食品・スキンケア素材の探索と利活用』・・・・・・・・・・幹 渉 教授
 - 14:20ー ○デモンストレーション
 - ・226 実験室に場所を移動し、教員が個別に装置・実験機器の説明を行います。
 - 15:00ー リモートガイドウェアの実践
 - ・教育や地域産業に役立つコンテンツを記録映像で紹介 (ポータルサイト)
 - ・附属農場と関係者説明会会場を繋ぐ・・・・・・・・・・・・・・・・構造計画研究所
 - 16:30ー 意見交換 (質疑応答など)
6. 紹介する機器 (予定)
 - ・リモートガイドウェア
 - ・卓上型ESR (電子スピン共鳴) 装置
 - ・自動滴定装置
 - ・3D パワーシステム鮮度維持装置
 - ・誘電加熱ユニット
 - ・弱酸性次亜塩素酸水溶液製造装置
 - ・HPLC
 - ・近赤外組成分布測定機 Compovision
7. 参加費 無料
8. 周辺に駐車スペースがありませんので、当日は公共交通機関をご利用下さい。

開催場所案内

<会場> 三重大学 総合研究棟Ⅱ 1F メディアホール
総合研究棟Ⅱ 2F 226 実験室

【アクセスマップ】



[大学までのアクセス方法]

■近鉄江戸橋駅から徒歩約15分

■近鉄津駅から

三交バス (津駅東口バス乗り場4番)

[白塚駅前][棕本][豊里ネオポリス][三行][三重病院][太陽の町][サイエンスシティ]行き乗車、

[大学前]下車。約10分 タクシー(津駅からタクシーで約10分)



「マリンフードイノベーション創発ユニット構築プロジェクト」

ワークショップ 参加申込書

FAX、またはE-mail（このページの添付ファイル可）でお申し込み下さい。
（※メールで申込の際は、件名を「ワークショップ申込」としてお申し込み下さい。）

企業・団体	
お名前 (複数列記可)	
所属	
連絡先	TEL
	E-mail

お申込み・お問い合わせ先

三重大学大学院生物資源学研究科 企画調整室（羽津本・山村）
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
TEL 059-231-9502 / FAX 059-231-9634

E-mail renkei@bio.mie-u.ac.jp

申し込み締め切り： 3月 2日（月）